

学生の皆さんへ

この夏はコロナ禍で、何かと活動に制限があり、限られた学生生活の中で貴重な夏休みを楽しく自由に過ごすことができず残念だったと思います。

さて、皆さんには UNIVERSAL PASSPORT や HP で既にお知らせしました通り、本学では独自に作成した「新型コロナウイルス感染症に対する活動方針」をもとに秋学期の授業を開始することにしました。

この活動方針の作成にあたり、本学が重要視した方針及び基準は以下の通りです。

1. 授業は面接(対面)形式が基本であり、面接授業を実施できるように最大限努力する。
2. 危機管理レベルは7段階に設定し、愛知県の危機管理基準と本学内の状況を見定め、レベルを判断し公表する。
3. 学生とその家族、教職員の健康を守るため、最大限の感染防止対策を行う。

愛知県は「緊急事態宣言」を解除しましたが、依然として「嚴重警戒」の段階にあることから、本学では現在の危機管理基準を「レベル3」と判断し、秋学期は当面、面接授業と遠隔授業を併用します。一部授業の組み換えなどを行い、皆さんが効率よく受講できるように、教職員の尽力により、面接授業と遠隔授業の組み合わせの最適化を図りました。

授業には、遠隔授業で実施しても一定の教育効果を上げられる講義形式のものもあれば、演習・実験・実習・実技のように面接授業を行う必要性のあるものがあり、すべての科目を一律に判断するということではありません。今後、愛知県内の状況が改善された場合などは、可能な限り面接授業への転換を実施していきます。

これまでの感染予防に加え、学生食堂にアクリル板を設置するなど新たな対策もとっていますが、マスクの着用・手指の消毒・3密を避けるなどの感染予防対策は当然必要です。皆さんひとり一人の心がけや協力をお願いします。不安や悩みがある場合は一人で抱え込まず、保護者の方や各キャンパスの学生相談窓口へ相談をしてください。学生生活において一部、不自由を強いることもあるかもしれませんが、このような状況下であることを理解し、秋学期開始に臨んでください。この「学び舎」で皆さんの元気な姿に接することを楽しみにしています。そして、一日も早くコロナ禍が収束し、何の制限もなく学生生活や日常生活が過ごせる日が来ることを願ってやみません。

2020(令和2)年9月17日

東海学園大学
学長 松原 武久